

ホンダステアリングスイッチ移設ステー Bタイプ

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

ご使用前に本書を良くお読み下さい。

本説明書の内容

A.使用目的・概要

製品の使用目的、概要等が記してあります。取付け車輛の使用者は必ずお読み下さい。

B.内容物

製品及び付属品、内容物全てを記してあります。取付け作業前に必ずお読み下さい。

C.取付けについて

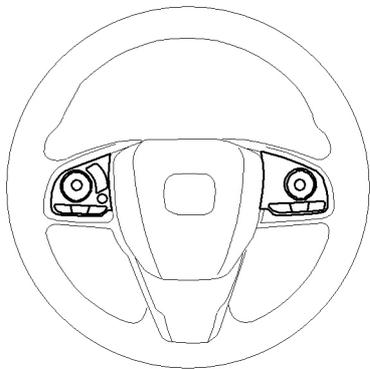
製品の取付けに関して記しています。取付け作業をされる方は必ずお読み下さい。

D.注意事項

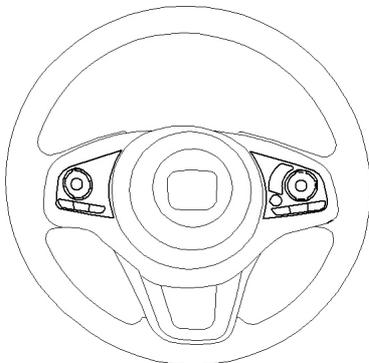
製品及び取扱説明書の内容についての注意について記してあります。取付け車輛の使用者、取付けされる方は必ずお読み下さい。

A.使用目的・概要

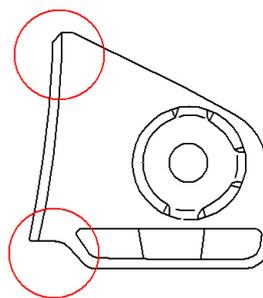
- ・ ホンダ車の純正ステアリングスイッチをスポーツタイプステアリングホイール及びステアリングボスに移設する製品です。この目的以外で使用しないで下さい。
- ・ 適合するスイッチ形状は下図をご参照下さい。非対応形状及び対応形状の車両でもパドルシフトが併設されている車両はご使用頂けません。
- ・ 本製品はワークスベル製ステアリングボス 226 と併せて使用します。単品ではステアリングホイールを車輻に取付けることができません。
- ・ 通常のボスとスイッチステーのセット B1 と、ラフィックスシリーズ用ショートバージョンの B1S の共通取付説明です。ステアリングもしくはラフィックスを装着するまでの手順は部品のみ違うだけで共通になります。
- ・ 他社製ステアリングボスには使用できません。
- ・ 標準的な直径 350mm 以上のスポーツタイプ 3 本スポークステアリングホイールの使用を想定して設計されています。それより小さい直径のスポーツタイプステアリングホイールや 3 本スポーク以外のステアリングでは使用状況を検証しておりません。
- ・ ホンダ純正のステアリングスイッチの取外し方は記載しておりません。車輻メーカーもしくはディーラーにお尋ね下さい。
- ・ 本製品の装着によりステアリングホイールが 5mm 運転者側に移動します。ご了承下さい。
- ・ ステアリングボスの取付けはボス付属説明書をご参照下さい。



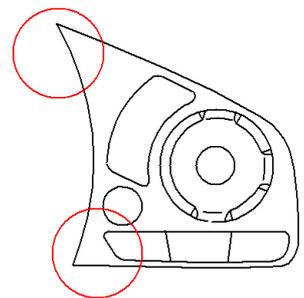
対応形状スイッチ例



非対応形状
スイッチ例



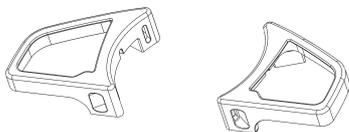
○対応形状



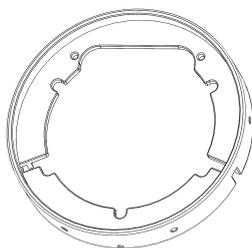
×非対応形状

ボタンの数や配置ではなく、パネルの形状が左図の場合だと装着できません。赤丸部分が異なります。

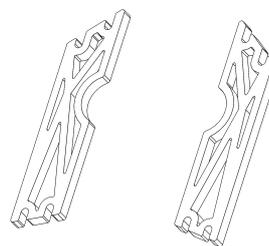
B.内容物



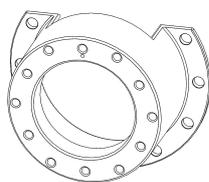
スイッチマウント(左右)※1



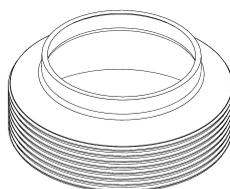
ベース



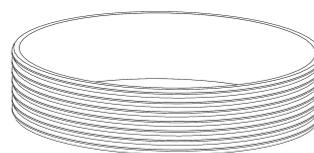
バックプレート×2※1



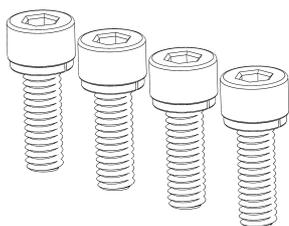
専用アッパー※2



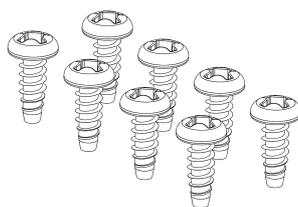
アッパーカバー



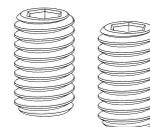
ローカバー



CAP スクリュー M4×4 本



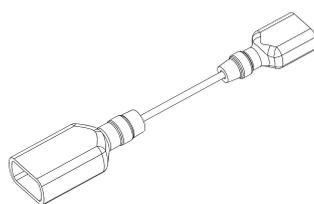
タッピングスクリュー M3×8 本



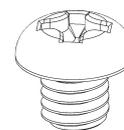
SET スクリュー M3×2 本



CAP スクリュー M6×5 本



ホーン延長コード*



ナベ頭+M4×1 本

※1: 左右の片方しかスイッチの無い車輛はマウントとバックプレートが余ります。

※2: ラフィックス用ショートバージョン B1S はショートアッパー付属になります。

注: 左右の片方しかスイッチの無い車輛はネジ類が余ります。

C.取付けについて

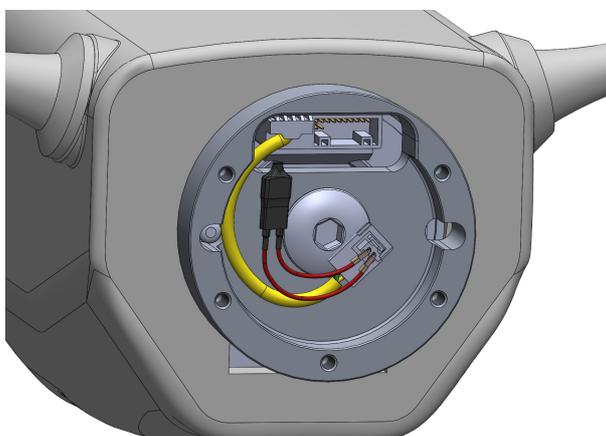
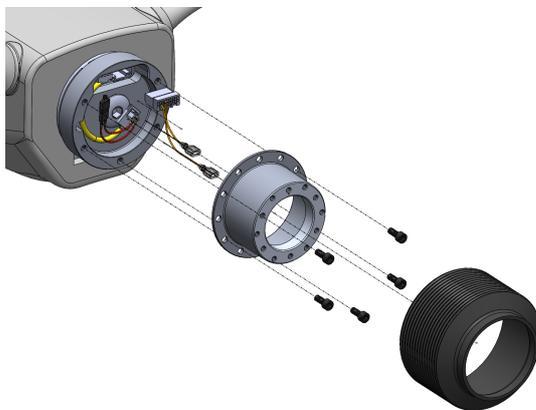
注:ステアリングを直進状態で停車し、バッテリー端子を外してから行って下さい。

1.ボス 226 の装着状態から、

ステアリングホイール、ホーンボタン、(ホーンリング)をはずした後、右図のように

- ・ ボスカバー
- ・ アッパー取付ボルト×5
- ・ アッパー
- ・ ホーンコネクター

を取り外し、右下図の状態にします。



2.純正ステアリングから、

- ・ 左右スイッチ
- ・ ハーネス Assy

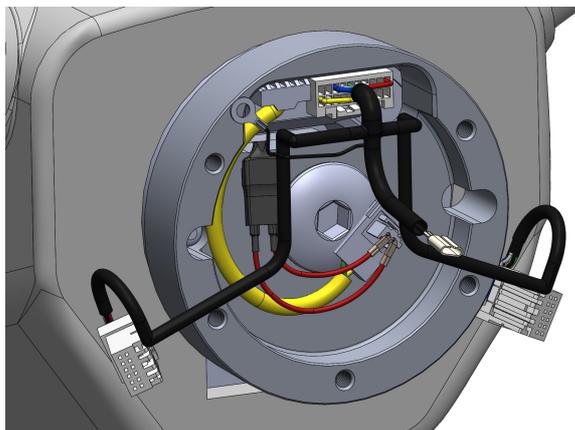
を取り外して下さい。

注:左右コネクタは同一形状の為、それぞれの色、位置をしっかりと覚えておいて下さい。

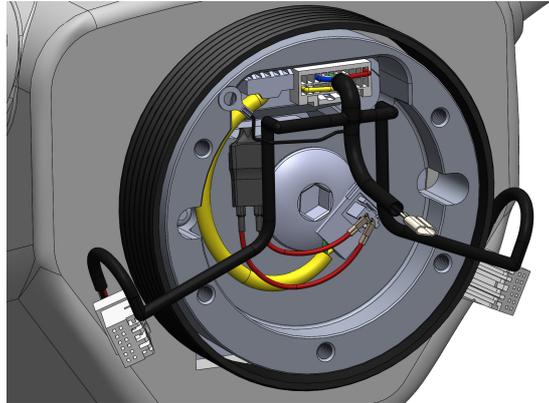


3.純正ステアリングから外したハーネスを接

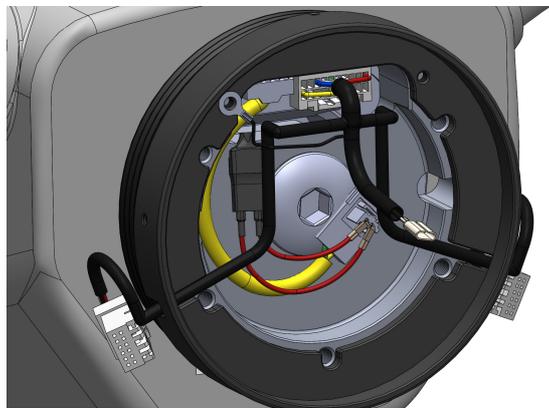
続します。



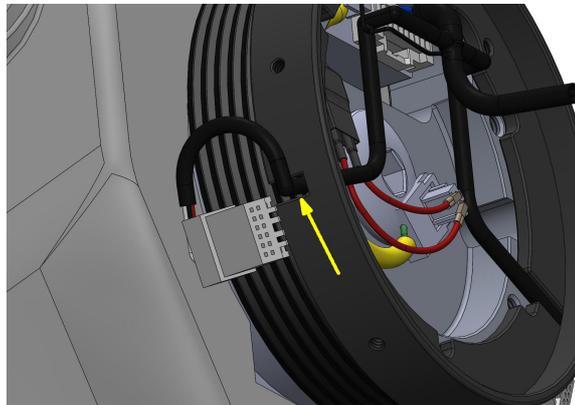
4. 付属ローカーバーを被せます。



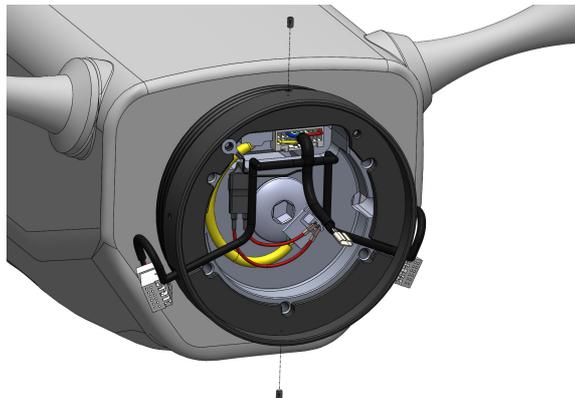
5. ベースを被せます。ベース裏にある溝にローカーバーが入るように、また純正ハーネスの左右がベース溝に入るように整えて下さい。



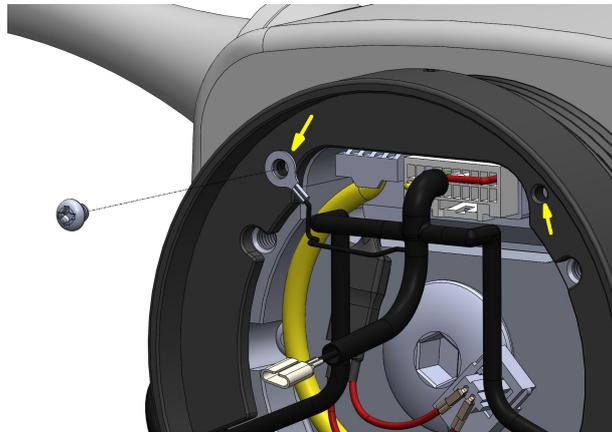
右図の黄矢印の溝とローカーバーとの隙間に配線を通します。



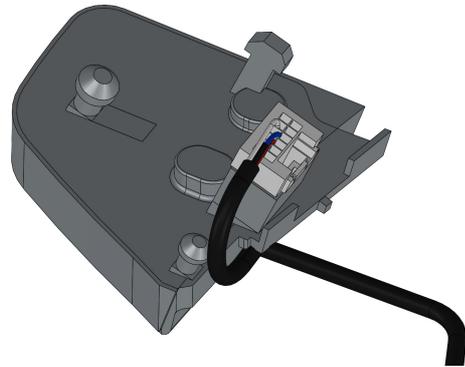
6. SET スクリュー M3 の 2 本でベースとローカーバーを固定します。カバーの谷部分にネジの先端が食い込むようにして下さい。



7.ナベ頭 M4 ネジでアース端子を固定します。右図黄色矢印のどちらのネジ穴でも構いません。(図は左側に固定)



8.上図のままの状態ですべての純正ハンドルスイッチにコネクタを挿入して下さい。このとき、手順 2 で外した左右の状態を必ず再現して下さい。

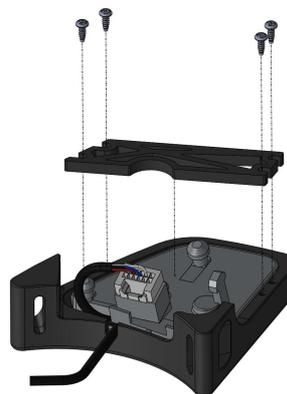


9.スイッチマウントを被せます。このとき、配線は図のように回り込む状態で溝に通して下さい。

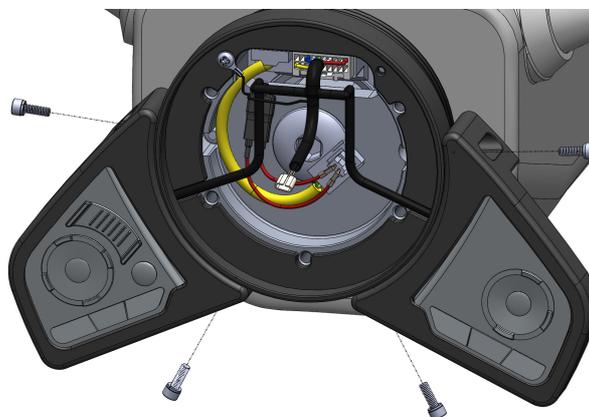


注:配線の挟み込みに注意!

10.バックプレートをスイッチマウントに2ピン
グスクリュー M3 を使ってネジ止めします。
バックプレートは左右共通です。**ネジの
締めすぎにご注意下さい。**締めすぎると
樹脂のネジ穴を舐めてしまいます。スイ
ッチマウントの中で純正ハンドルスイッチ
が適切な位置になるように調整しながら
固定して下さい。



11.組立てた左右のスイッチマウントを CAP
スクリュー M4×4 本でベースにネジを仮留
めして下さい。

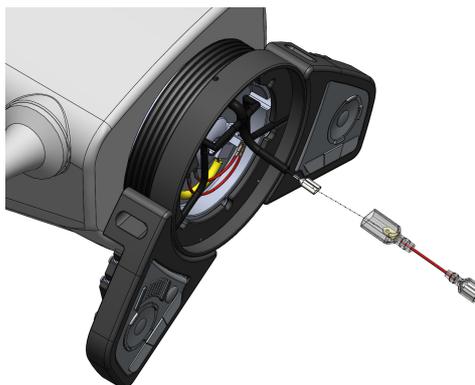


スイッチマウントはベースに対して上下に
調整して固定できます。車両のコラムカバ
ーに干渉しないように調整して下さい。

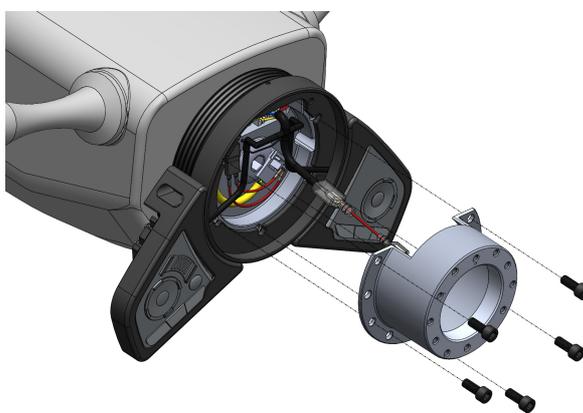
**注:締めすぎると樹脂が変形、割れる恐れ
があります。締めすぎにご注意下さい。**



- 12.ホーン延長コードを純正ホーン端子に接続します。

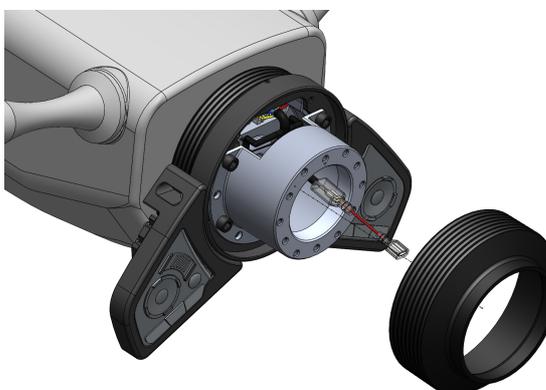


- 13.専用アッパーを CAP スクリュー M6×5 本でベースを介して 226 本体に TOP マークを 12 時方向にしてネジ留めします。ベースのセンターとアッパーのセンターが合うように調整して固定して下さい。
(B1S ではショートアッパーを使用します。)

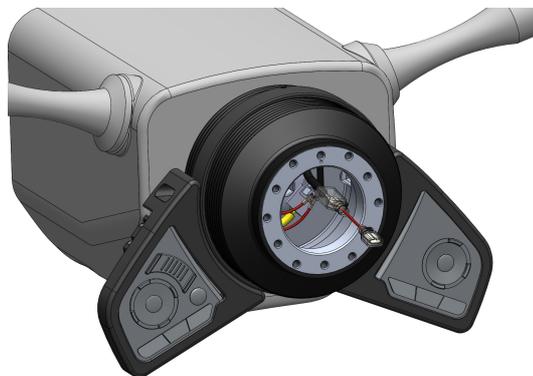


- 14.アッパーカバーを装着します。
専用アッパーとベース部分に同時に挿入しますので歪ませながら慎重に挿入して下さい。

注:アッパーカバーは一度挿入すると極めて外すのが困難です。他の部分にすべて問題がないか確認してから挿入して下さい。



- 15.完成です。スイッチの配線類がコラムカバーに接触していないか再度確認し、必要であればスイッチマウントの位置を再調整して下さい。ステアリングとホーンボタンを戻してホーンの鳴動の確認、エンジンを始動してステアリング操作に支障が無い確認して完成です。
(B1S の場合は続いてラフィックスのプラグを装着します)



D.注意事項

- ・取付け完了後、ステアリング操作して異常が無いか確認して下さい。正しい配線等がなされず、車両側のスパイラルケーブルを配線類で押している、ステアリング操作が重くなる場合があります。また、**その状態で運転を続けると車両部品が破損する恐れがあります。ご注意ください。**
- ・手順 14 のアッパーカバーを外す時、どうしても外せない場合は、樹脂製のヘラ等をカバー下端に差し込んで少しずつこじってカバーを浮かせて下さい。
- ・運行前には必ずスイッチマウントがネジ留めされていることを確認して下さい。**運転中にスイッチマウントが脱落するとステアリング操作ができなくなり大変危険です。**
- ・本製品を改造してご使用にならないで下さい。
- ・取り外した**純正ステアリングや部品は大切に保存しておいて下さい。**なんらかの理由により、純正状態に戻す際に必要になります。弊社ではその責任を負えません。
- ・弊社製品は慎重に検査し不具合がないことを確認してから出荷しておりますが、万が一品質に問題がある場合は弊社までお問い合わせ下さい。このとき製品を一度弊社までお送り頂く場合が有り得ます。上記純正部品が必要になりますし、ご自分で作業されない方は工賃が派生することが想定できますが、弊社ではこの**純正部品、工賃等は一切保証致しかねます**ので何卒ご了承ください。

製造元：株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

問合せ先：ワークスベル・カスタマーセンター

TEL：0266-70-1477

E mail：support@worksbell.co.jp